

平成 27 年度 「スラブ・ユーラシア地域（旧ソ連・東欧）を中心とした総合的研究」に関わる「共同研究班」 研究報告書

平成 28 年 4 月 28 日現在

研究課題名	中央ユーラシア・ムスリムの歴史・社会に関する共同研究		
担当者	氏名		所属機関・職
	1	宇山 智彦	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授
	2	長縄 宣博	北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター准教授
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	海野（山崎）典子	東京大学大学院総合文化研究科博士課程	中央ユーラシア近代史、中国・イスラーム地域研究
	研究テーマ		
	19-20 世紀の中国ムスリム社会史、東アジアとイスラーム世界の関係史		

研究成果の概要

本班の活動の中心的行事となったのは、2015 年 7 月 29 日にスラブ・ユーラシア研究センターで開催した、下記の若手研究者セッションである。

Russia and the USSR as Destinations for Mobile Muslim Intellectuals in the First Half of the Twentieth Century

報告：海野典子（東京大学大学院博士課程）“Between the Qing Dynasty and the Russian Empire: Dungans and Uyghurs in Central Asia in the 1910s”

登利谷正人（上智大学イスラーム研究センター研究員）“Indian Muslims and the Soviet Union in the 1910s and 1920s: The Case of Zafar Hasan Āibak’s Āp Bītī”

小野亮介（慶應義塾大学大学院博士課程）“Turkestan Seen from an Ēmigré Turcologist: Zeki Velidi Togan, Yeni Türkistan, and His Letters (1927-1932)”

司会：宇山智彦（SRC）

本セッションでは、中国・インド・トルコというユーラシアの大国のムスリム・エリート、とりわけ政治的理由によりロシア帝国（のち、ソ連領）中央アジアに移住・亡命したムスリム知識人の活動や思想を比較することを試みた。その結果、移住と定着の過程、現地のロシア人やムスリムに与えた影響などには相違点があったものの、総じて、中央ユーラシア周縁のムスリム知識人にとってロシア・ソ連が、政治的、経済的、あるいは文化的「目的地」として大きな意味を有していたことを指摘することができた。3 報告者が取り上げた各国・各地域のムスリム知識人間の知的交流の有無や、ロシア・ソ連側の反応については、十分に論じることができなかったが、これら今後検討すべき課題を発見できたことも、有意義であった。

研究成果の概要（続き）

なお、このセッションは、本班担当者（長縄、宇山）がサポートしつつ、班員（海野）がイニシアティブをとって、他の若手研究者2人（登利谷、小野）に呼びかけて企画したものである。これにより、センターの中央ユーラシア研究に関わるネットワークを拡充するとともに、若手研究者に研究会企画の経験と英語による発表の機会を与えることができた。また、本セッションはセンターの夏期国際シンポジウム「ロシアとグローバルヒストリー」の前日企画としても位置づけられ、参加した外国人研究者等から有益な質問・コメントを得られた。

上記セッション以外でも、担当者と班員はメールおよび他の会議等で、近代中央ユーラシア知識人の活動や相互影響について意見交換を行った。海野は2015年9月からハーバード・イェンチン研究所に客員研究員として留学しているが、当研究班で得た経験やサポートは、アメリカを拠点とする国際的活動にも役立っている。

主な発表論文等（雑誌論文、学会発表、図書 等）

（論文）海野典子「中国 Muslims の『清真』意識と自他認識：20世紀初頭の華北地域におけるハラール問題と『回』『漢』関係」『イスラーム地域研究ジャーナル』第8号、2016年、12-24頁。

（論文）海野典子「辮髪は反イスラーム的か？ 20世紀初頭の『剪髪』ブームに見る華北 Muslim 社会の諸相」『アジア地域文化研究』第12号、2016年8月刊行予定。

（学会発表）UNNO Noriko, “From ‘Western Regions’ to ‘Eastern Lands’: Chinese Muslim Folklore and Memories of Migration in the Early Twentieth Century,” Columbia University Graduate Conference on East Asia, New York, USA (February 2016).

（学会発表）UNNO Noriko, “Jadidists in Beijing: Chinese Muslims’ Educational Reform in the Early Twentieth Century and Japanese Pan-Asianists,” Association for Asian Studies, Seattle, USA (April 2016).

（学会発表）UNNO Noriko, “Ottoman Muslims in China: Travelers and Teachers in Beijing in the Early Twentieth Century,” China Beyond East & West Workshop, South Carolina, USA (April 2016).

当該研究活動を基に応募中の研究プロジェクト（科研費等）

なし。

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。